並木中等story

令和５年１月23日号

不安不幸はあって当たり前と思う

誰も不安や不幸は喜ばないと思います。ほとんどの人が“安心な世が続き、幸せであると良い”と願っているのではないでしょうか。しかし、そうはいきません。誰もが不安な時があったり、不幸を感じたりすることがあると思います。ある人は「不安なことばかり、私ばかり不幸だ。」と話していました。

この不安と不幸は考え方を変えると少し受け入れやすくなります。”誰もが不安を抱えたり、不幸を感じたりする”これは間違いありません。いつも幸せそうに見える人にも必ずあります。不安と不幸は安心と幸福とのセット、不安と不幸があるから、生きるための知恵を生み出したり、私たちが成長する素になっていると考えたらどうでしょうか。並木中等の弁証法的対話では、“正の意見があって反の意見がある。反があるからより発展的な合の考えが生まれる”と教えています。“不安不幸は成長の鍵”と思ってその困難を乗り越えましょう。

《祝　全国総文祭東京大会自然科学・化学部門奨励賞受賞！》

第46回全国高等学校総合文化祭東京大会の自然科学部門化学部門において、５年次の三浦さんが奨励賞を受賞しました。

なお、三浦さんは日本植物学会第86回大会高校生研究ポスター発表においても優秀賞を受賞しました。おめでとうございます。